

S-Stage ボアアップキット 80cc（カム無） 取扱説明書

製品番号 01-05-0348

適応車種	Ape	(AC16-1000001 ~) (AC18-1000001 ~)
	CB50J	(CB50J-1000011 ~ 1127783)
	CB50SA	(AC02-1000007 ~ 1016876)
	CB50SB	(AC02-1100006 ~ 1107894)
	XR Motard	(HD14-1000001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

使用燃料についてのご注意

当製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。
レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。
製品取り付け前にフューエルタンクに残っていたガソリンにもご注意ください。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スパークプラグについてのご注意

スパークプラグは必ず、CR8HSA (NGK) 又は、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。その後、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

スプロケットについての注意点

当製品を取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。適正な減速比に変更して下さい。

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎当製品の取り付けには、エンジン脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行う事をお勧めします。
- ◎取り付けの際には、下記記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎Ape（キャブ）及びXR50 Motardは、当製品単体では性能を発揮しません。別売りのキャブレターキットをお買い求め下さい。
- ◎Ape [FI] に当製品を取り付け、ノーマル ECU のままで使用されるとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。
弊社製 FI コントローラー “FI コン 2 (05-04-0037)” を必ず同時装着して下さい。
- ◎さらなるパワーアップには、弊社製マフラーをお勧めします。
- ◎CB50 に当製品を取り付け、エキゾーストマフラーが変更されている場合はセッティングの見直しが必要な場合があります。
- ◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
- ◎液体パッキン等は絶対に使用しないで下さい。オイル通路をふさぐ等の可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。
- ◎当製品を取り付けるには、別途、L. クランクケースカバーガスケット（ホンダ品番：11394-KN4-750）が必要です。別途お買い求め下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。（法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）
- ガスケット、パッキン類はよく点検し、摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

株式会社 スペシャルパーツ 武川

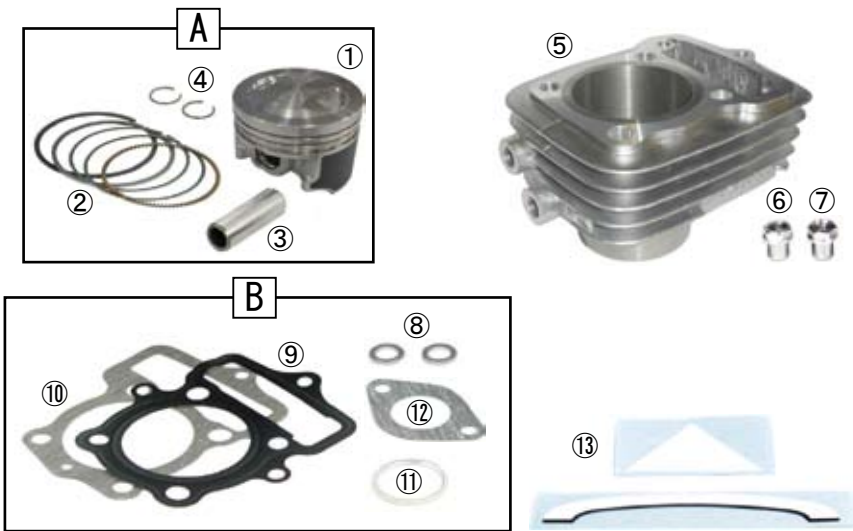
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。
- 但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
- なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

ネジについて

- ◇普通、ボルトとナットは反時計方向に回すと緩み、時計方向に回すと締まります。
- ◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるまで締めましょう。
- ◇ネジを緩めると言う事は、締まっている状態から3～4回転反時計方向に回す事を言い、取り外すと言う事はネジが取れるまで反時計方向に回す事を言います。
- ◇ネジを締めると言う事は、ネジを緩まないように締める事を言います。その目安をボルトごとに、折れない・緩まない数値で表したのが規定トルクです。
- ◇トルクレンチを用意する事が出来ない方は折れない・緩まない力でネジを締めれるのであれば試して下さい。但し、弊社では責任を負いません。
- トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めるのか、折れるのか、緩むのかは経験と勘でしか補えません。
- ◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

製品内容



番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	ピストン 53.5mm	1	00-01-0410 (③ピストンピン付き)
2	ピストンリングセット 53.5mm	1	01-15-016
3	ピストンピン 13x36	1	00-01-0091 (④サークリップ2ヶ付き)
4	ピストンピンサークリップ 13mm	2	00-01-0003 (6ヶ入り)
5	シリンダー	1	01-01-0117 (⑥⑦プラグボルト / ⑧シーリングワッシャ2ヶ付き)
6	プラグボルト	1	00-07-0072 (⑧シーリングワッシャ付き)
7	プラグボルト M5 穴付	1	00-07-0090 (⑧シーリングワッシャ付き)
8	シーリングワッシャ 10x14x1.5	2	00-07-0106 (10ヶ入り)
9	シリンダーヘッドガスケット	1	00-00-1144
10	シリンダーガスケット	1	00-01-0075 (2ヶ入り)
11	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0027 (2ヶ入り)
12	インレットパイプガスケット	1	00-03-0004 (4ヶ入り)
13	原付2種マークセット	1	

記号	部品名	品番
A	ピストンキット	01-02-0244
B	ガスケットセット	01-13-021

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

Ape (F1) の場合

◇メインスイッチを OFF にし、
 フューエルポンプユニット 2P (黒)
 カブラの接続を外します。



◇メインスイッチを ON にしてキック
 スターターでエンジンを 5 回以上
 クランキングしてフューエルホース
 内の燃圧を抜きます。
 ◇メインスイッチを OFF にします。

Ape (キャブ)、CB50、XR Motard の場合

◇フューエルコックを OFF にします。



◇サイドスタンドを取り外す必要が
 ありますので、レーシングスタンド
 等を用いて車両を確実に支えて下さい。
 ※CB50 はノーマルマフラーを取り
 外さなければ、レーシングスタンドを
 使用出来ません。
 まず、サイドスタンドで車両を支え、
 “エキゾーストマフラーの取り外し”を
 参考にして取り外して下さい。
 ※作業は必ず冷間時 (エンジン及び
 マフラーが冷えている時) に行っ
 下さい。
 ※各パーツはホコリやオイルなどの
 汚れを取り除いてきれいにしながら
 取り外していくようにして下さい。
 ※取り外したボルトやナットは無くさ
 ないように、どの場所に使用するの
 かわかるように保管して下さい。
 ◇チューブクリップをずらし、
 フューエルチューブの接続を外します。

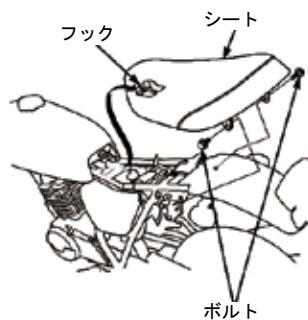


●エンジンの取り外し

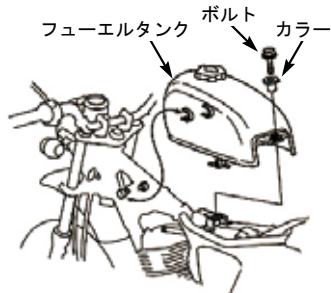
シートとタンクの取り外し

Ape (キャブ) の場合

◇2 本のボルトを取り外します。
 シートを後方に引いて外します。

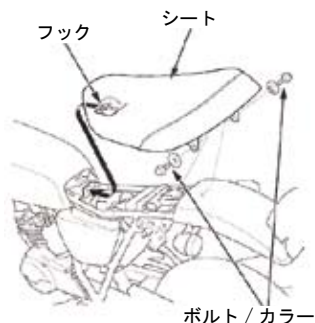


◇ボルトを外し、フューエルタンクを
 後方に引いて取り外します。



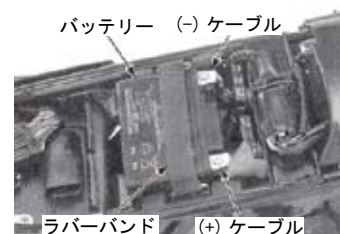
Ape (F1) の場合

◇2 本のボルト及びカラーを取り外し
 シートを外します。



※クイックコネクターの取り外し 方法

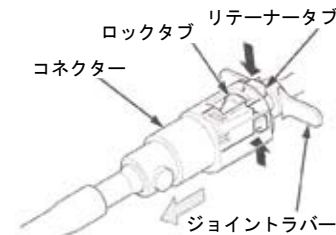
1. バッテリーよりケーブルを取り外し
 ます。



2. クイックコネクタ周辺をエア
 ブロー等で清掃し、コネクタ周辺を
 ウェスで被います。

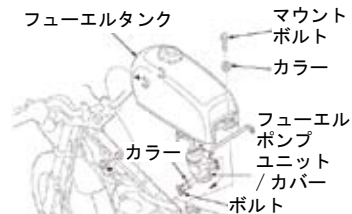


3. リテーナータブを押し込んでロック
 タブをコネクタから外し、
 コネクタを引き抜きます。



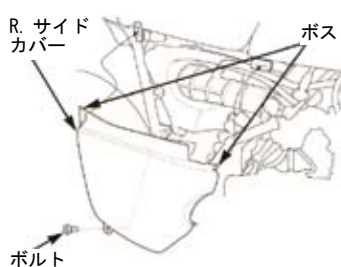
4. 取り外したコネクタはゴミや
 ほこりの浸入を防ぐ為、ビニール等で
 被います。

◇前記を参考にしてスロットルボディ側の
 クイックコネクタを取り外します。
 ◇マウントボルト、カラー及びボルト、
 カラー 2 つを取り外しタンクを取り
 外します。

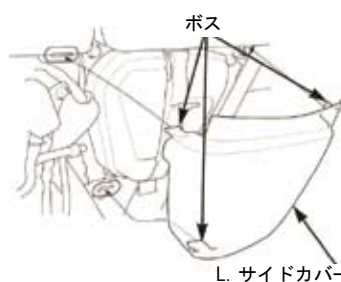


サイドカバーの取り外し

◇R. サイドカバーのボルトを取り外し
 ます。
 ポス 2 ヶ所をフレームから外すと、
 サイドカバーが外れます。



◇L. サイドカバーのボス 3 ヶ所をフレーム
 から外すと、サイドカバーが外れます。



CB50

◇左右のボス各 3 ヶ所を外し、取り外し
 ます。



XR Motard

◇L/R サイドカバーのフランジボルトを
 取り外し、L/R サイドカバーを取り
 外します。



キャブレター

(スロットルボディ) の取り外し

Ape (キャブ)、CB50、XR Motard の場合

◇キャブレターのトップキャップを
 外し、スロットルバルブを
 キャブレターから抜き取ります。



◇コネクティングチューブバンドの
 スクリューを緩めます。



◇ボルト 2 本を取り外し、シリンダー
 ヘッドからマニホールドと
 キャブレターを取り外します。



Ape (キャブ) の場合

◇スクリューを外し、スロットル
 ドラムカバーを取り外します。



◇ IAC バルブ 4P (黒) カブラ、インジェクタ 2P (黒) カブラの接続を外します。



◇ センサーユニット 5P (黒) カブラの接続を外します。



◇ ロックナットを緩め、スロットルケーブルをケーブルホルダーとスロットルドラムから取り外します。



◇ コネクティングチューブバンド スクリュー、及びインシュレーターバンドスクリューを緩め、スロットルボディを取り外します。
※スロットルボディからスロットルケーブルを取り外した後、スロットルバルブを全開から全閉にスナップしないで下さい。
※作動不良の原因となる為スロットルボディを落とす等、強い衝撃を与えないで下さい。



エキゾーストマフラーの取り外し
◇ シリンダーヘッド側のナット 2 個を取り外します。



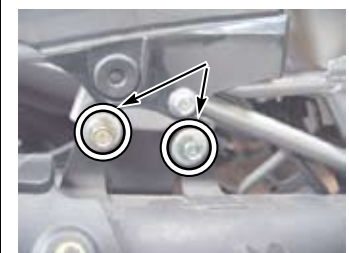
Ape

◇ マウントボルトとワッシャを取り外し、エキゾーストマフラーを取り外します。



XR Motard

◇ フランジボルト 2 本を取り外し、エキゾーストマフラーを取り外します。



CB50

◇ ボルトを取り外し、キックペダルを取り外します。



◇ ロックナットとワッシャを取り外し、エキゾーストマフラーを取り外します。



※エキゾーストパイプを、ステップとエンジンの中から抜き取ります。



スパークプラグの取り外し

◇ プラグキャップを引っ張り、取り外します。必ずキャップ部分を引っ張って外して下さい。



◇ スパークプラグを取り外します。



接続を外す

Ape (キャブ) の場合

◇ 配線の接続を外します。



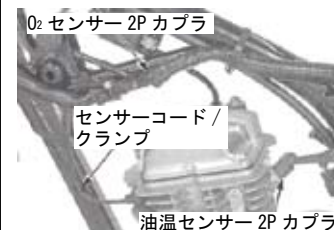
◇ ワイヤーバンドを外します。



センサーカブラの取り外し

Ape (FI) の場合

◇ 油温センサー 2P (茶) カブラ、O₂ センサー 2P (黒) カブラの接続を外し、クランプから O₂ センサーコードを取り外します。



◇ ワイヤーバンドを外し、サイドスタンドスイッチ 2P (緑) カブラと AC ジェネレーター 5P (茶) カブラの接続を外します。



◇ ブリーザーホースの接続を外します。(Ape の場合)



◇ クラッチケーブルガイドのナットを緩め、リフターレバーからクラッチケーブルの接続を外します。



◇ ケーブルガイドからクラッチケーブルを外します。



◇ タコメーターケーブルのスクリューを外し、ケーブルを取り外します。(CB50 場合)

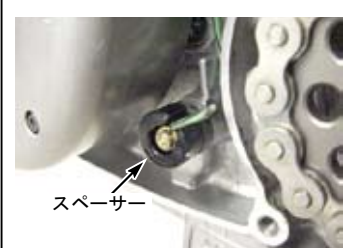


ドライブsprocketの取り外し

◇ L. クランクケースカバーのボルト 5 本を外し、L. クランクケースカバーを取り外します。



◇ ガasketがきれいに剥れず残った場合は、スクレーパーやカッターナイフ等で取り除いて下さい。
◇ スペーサーを取り外しておきます。



◇ドライブsprocketの2本のボルトを外し、フィクシングプレートとドライブsprocketを取り外します。



L. ステップの取り外し

Ape の場合

◇サイドスタンドスイッチコードをフレームから取り外します。



◇ボルト2本を取り外し、L. ステップを取り外します。



エンジンの取り外し

◇エンジン下部にジャッキや適な台等を置き、エンジンを支えます。



◇フロントエンジンハンガーのナット4個を取り外し、ボルト4本を抜き取ってフロントエンジンハンガーを取り外します。



◇リアエンジンマウントの上側のナットを取り外します。



◇下側のナットを取り外します。



◇まず、上側のボルトを抜き取り、カラーとクラッチケーブルガイドを取り外します。



◇下側のボルトを抜き取り、エンジンをフレームの左側から取り外します。フレーム等に傷をつけないように注意して下さい。



● シリンダーヘッド、シリンダー、ピストンの取り外し

シリンダーヘッドの取り外し

◇シリンダーヘッドカバーボルト2本を外し、シリンダーヘッドカバーとガスケットを取り外します。



◇フライホイールを固定し、カムsprocketの6角ボルト2本を緩めておきます。



◇ロックボルトとセットプレートを取り外し、アジャスターを取り外します。



◇カムsprocketの6角ボルト2本を取り外します。



◇カムsprocketをカムシャフトから外し、カムチェーンから外します。



◇カムチェーンをクランクケース内に落とさないように針金等で吊っておきます。



◇シリンダー後部にあるアジャストボルト、ロックナットを緩めます。



◇シリンダーヘッドマウントボルトを取り外します。



◇カムシャフトホルダーナット4個を対角に数回に分けて緩めてワッシャ4個、カムシャフトホルダー、カムシャフト、プッシュ (Ape、FI)、ノックピンを取り外します。



◇シリンダーヘッドを取り外します。



◇ノックピン2個は、再使用するので取り外しておきます。



◇シリンダーヘッドのマニホールド取り付け面のガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。



シリンダーの取り外し

◇カムチェーンガイドを取り外し、シリンダーを抜き取ります。
(かたい時はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外します。)



カムチェーンガイド



◇ノックピン2個は、再使用するので取り外しておきます。



◇ロックナットとアジャストボルトをシリンダーから取り外します。



◇スプリングを外し、カムチェーンテンショナーをシリンダーから取り外します。



◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールにゴミや部品が入らないようにウエスを詰め込みます。



ピストンの取り外し

◇ピストンピンサークリップの片側を取り外します。
※ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじると外れます。



◇サークリップを取り外した方へドライバー等でピストンピンを押し外します。



◇ピストンが外れます。



取り付け面をきれいにする

◇ガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。取り付け面にキズを付けないように注意して下さい。



◇ウエスできれいに拭き取ります。



●クランクケースの修正

※シリンダーをクランクケースに取り付ける際、左右クランクケースのズレ等により、シリンダースリーブ部とクランクケーススリーブホール部が干渉する場合があります。干渉した状態で使用するとスリーブが変形し、エンジントラブルの原因となりますので必ず点検、修正して下さい。

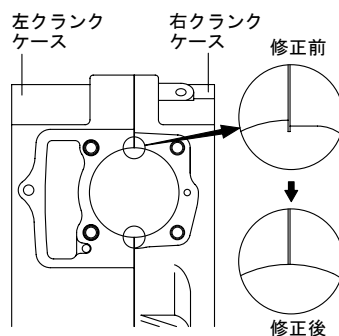


干渉部分 シリンダースリーブ部

◇クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰めます。

◇左右クランクケースのズレの出っ張っている部分を削り、引っ込んである部分と同じ高さにします。

◇削り終わったら削り粉がクランクケース内に入らないように慎重にウエスを取り除きます。



◇きれいなウエスをスリーブホールに詰めておきます。

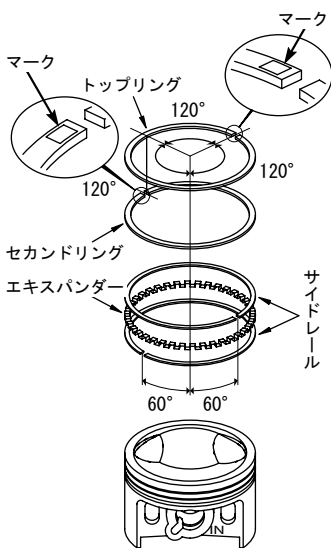
◇キットを取り付けた後にエンジンをアイドリングで数分かけ、すぐにエンジンオイルを新品に交換して下さい。

●Sステージキットの取り付け ピストンの取り付け

◇ピストンピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付けます。
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けして下さい。
※ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けの事が出来ます。
※押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。



◇図を参考にしてピストンリングを取り付けます。



◇オイルリングエキスパンダーを入れます。



◇下オイルリングサイドレールを入れます。



◇上オイルリングサイドレールを入れます。



◇マークを上にして、セカンドリングを入れます。



◇マークを上にして、トップリングを入れます。



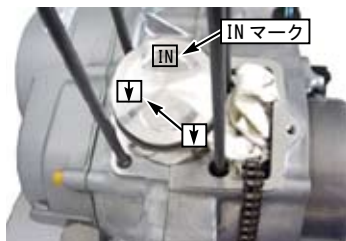
◇ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



◇コンロッドのピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



◇ピストンの頂面に↓又はINマークがあります。↓は排気側を向くように、INマークは吸気側を向くようにピストンを取り付けます。

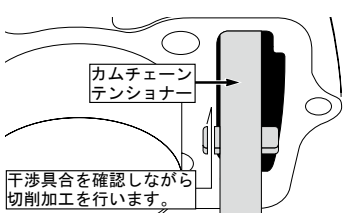
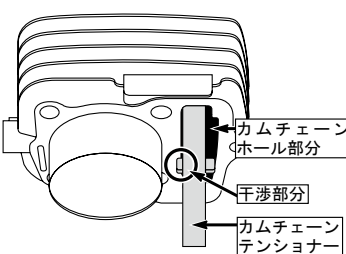


◇付属のピストンピンサークリップを取り付けます。
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けして下さい。
※ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けの事が出来ます。
※押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。



シリンダーの取り付け

◇カムチェーンテンショナーの切削加工が必要になります。
◇弊社製ボアアップシリンダーにカムチェーンテンショナーを仮付けした際、カムチェーンテンショナーの突起部分とシリンダーのカムチェーンホール部分が干渉します。
◇干渉具合を確認しながら徐々に切削加工を行います。
◇カムチェーンテンショナーの突起部分が軽く振れながら穴に差込めるぐらいが目安になります。
※削り過ぎにご注意下さい。



◇カムチェーンテンショナーをキットのシリンダーに差し込み、スプリングのフックをシリンダーに引っ掛けます。



◇カムチェーンテンショナーのロッド先端を取り付け面と同じぐらいの位置にします。アジャストボルトで固定し、ロックナットを締め付けます。



◇詰めていたウエスを取り外します。



◇クランクケースとシリンダーの合せ面をシンナー等で脱脂します。



◇ノックピン2個とシリンダーガasketをクランクケースに取り付けます。



◇シリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、指で均等に塗り広げます。



◇ピストンの全周面と、ピストンリングにエンジンオイルを塗布します。



◇シリンダーを入れていきます。



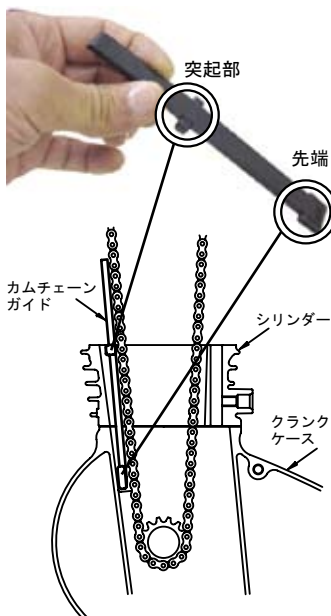
◇シリンダーにピストンリングの合い口がずれないように指で少しずつはめていきます。



◇ピストンがシリンダーにはまったら、カムチェーンをシリンダーを通してシリンダーをクランクケースにはめ込みます。



◇カムチェーンガイドの先端をクランクケースの溝に、突起部をシリンダーの溝に合わせようとして差し込みます。



シリンダーヘッドの取り付け

◇シリンダーとシリンダーヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂します。



◇ノックピン2個とシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付けます。



シリンダーヘッドガスケット

◇カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付けます。



◇アジャスターをカムチェーンテンショナーとシリンダーヘッドに通して取り付けます。



◇ロックボルトでセットプレートを仮止めます。



◇シリンダーヘッドマウントボルトを仮止めておきます。



カムシャフトとカムスプロケットの取り付け

◇キットのカムシャフトのジャーナル面とカム面にエンジンオイルを塗布し、シリンダーヘッドに取り付けます。カムシャフトのカム山は下側に付けておきます。



◇Ape (F1) の場合は下の写真を参考に取り付けして下さい。



◇ノックピン2個を取り付けます。



◇カムシャフトホルダーを取り付けます。



◇ワッシャ4個を取り付けます。



◇ナット4個を対角に数回に分けて、均等に締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：20N・m (2.0kgf・m)
CB50
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



◇仮止めていたシリンダーヘッドマウントボルトを本締めします。シリンダーヘッドマウントとカムシャフトの間にカムチェーンを噛み込まない様、注意して下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
シリンダーヘッドマウントボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



◇フライホイールの“T”マークがクランクケースの“マ”マークに合っているか確認します。



◇カムスプロケットの“O”マークが真上を向くようにカムチェーンを取り付けます。カムスプロケットをカムシャフトにはめ込みます。



◇フライホイールを少し回して、カムスプロケットを回し、6角ボルトを取り付けやすくします。
◇カムシャフトのボルト穴をカムスプロケットに合わせて6角ボルト2本を手で締め込み、仮止めします。この時、ノックボルト(黒色ボルト)をインテーク側に取り付けして下さい。
※Ape (F1) の場合、ボルトに区別はありません。



◇フライホイールを固定し、カムスプロケットの6角ボルト2本を締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
6角ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)
Ape (F1)
トルク：9N・m (0.9kgf・m)

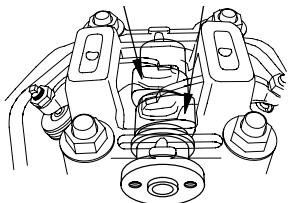


カムチェーンの調整

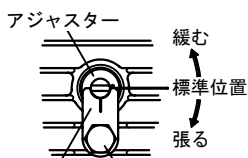
※カムチェーンは張りすぎてもたるみがあってもエンジンの調子を損ないます。確実に作業を行って下さい。

◇フライホイールを反時計方向に回し、カムシャフトの両方のカム山が上になる位置にします。

カム山を上 にします。



◇フライホイールを手で少し動かし、カムプロケットとのガタをみながら、アジャスターの“O”マークを張る方向や緩む方向に回してみます。



セットプレート — ロックボルト

◇ガタが無く、フライホイールが重くならない所でロックボルトを締め込み、アジャスターを固定します。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ロックボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇アジャスターの調整だけではガタが無くならない場合、シリンダーのアジャストボルトでも調整を行います。

◇アジャスターをガタが一番少ない位置で固定し、シリンダーのロックナットを緩め、アジャストボルトを少しだけ緩めます。



◇マイナスドライバーでアジャストボルトを固定し、ロックナットを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ロックナット
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

◇再びアジャスターを回して、ガタが無く、フライホイールが重くならない所を探し、ロックボルトでアジャスターを固定します。

バルブ隙間の調整

◇フライホイールを反時計方向に回して、カムプロケットの“O”マークが真上を向き、フライホイールの“T”マークがクランクケースの“V”マークに合う位置で止めます。

◇アジャストスクリューとバルブ端面の間(バルブ隙間)に0.1mmのシクネスゲージを差し込みます。



◇引き抜く時に少し抵抗がある位にアジャストスクリューを合わせ、ナットを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇ナットを締め付け後、0.1mmのシクネスゲージを再度差し込み、バルブ隙間を確認します。

◇シリンダーヘッドのオイル溜りにきれいなエンジンオイルをいっぱいまで入れます。



◇シリンダーヘッドカバーとガスケットをシリンダーヘッドカバーボルト2本でシリンダーヘッドに取り付けます。

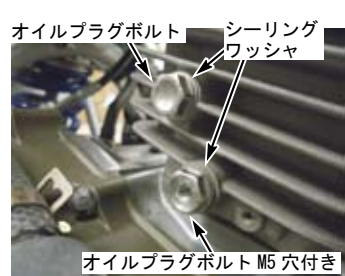
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
シリンダーヘッドカバーボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



◇付属のシリンダーのボス2箇所、オイルプラグボルト/シーリングワッシャを取り付けます。オイルプラグボルト M5 穴付きは、エンジン取り付け時に下側になるよう取り付けます。

※オイルクーラーキットを取り付ける場合はそのキットの取扱説明書に従う事。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
オイルプラグボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



●エンジンの取り付け

エンジンの取り付け

◇エンジン下部にジャッキや適当な台等を置きエンジンを支え、車体の左側からエンジンを取り付けます。

◇リアエンジンマウントの下側にボルトを左側から差し込みます。(CB50の場合は右側から差し込みます。)



◇カラー(Apeの場合)とクラッチケーブルガイドを取り付け、リアエンジンマウントの上側にボルトを左側から差し込みます。



◇ナット2個を仮止めします。



◇フロントエンジンハンガーを取り付け、ボルト4本を左側から差し込み、ナット4個を仮止めします。



◇ドライブチェーンを取り付けたドライブsprocketを、カウンターシャフトに差し込みます。差し込みにくい場合は、エンジンを軽く揺すりながら差し込んで下さい。



◇ドライブチェーンに適度なたるみを持たせたまま、仮止めしたリアエンジンマウントのナット2個と、フロントエンジンハンガープレートのナット4個を本締めします。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
リアエンジンマウントナット
トルク：44N・m (4.5kgf・m)

フロントエンジンハンガープレートナット
トルク：26N・m (2.7kgf・m)

◇フィッシングプレートをカウンターシャフトに差し、ドライブsprocketのボルト穴に合わせてボルト2本を取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

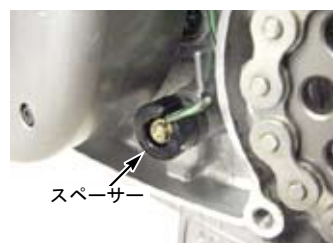


●L. クランクケースカバーの取り付け

◇L. クランクケースカバーとクランクケースの取り付け面をシンナー等で脱脂します。

◇スパーサーを取り付け、L. クランクケースカバーと新品のガスケットをボルト5本でクランクケースに取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



L. ステップの取り付け

Ape の場合

◇L. ステップをボルト 2 本でフレームに取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルト
トルク：26N・m (2.7kgf・m)



◇サイドスタンドスイッチコードをフレームのクランプに取り付けます。



接続

Ape (キャブ)、CB50、XR Motard の場合

◇配線の接続を行います。



◇ワイヤーバンドでコードをフレームに固定します。



Ape (FI) の場合

◇サイドスタンドスイッチ 2P (緑) カブラ、AC ジェネレータ 5P (茶) カブラを接続し、ワイヤーバンドでフレームに固定します。



◇ブリーザーホースを接続します。
(Ape の場合)



◇リフターレバーにクラッチケーブルを取り付け、クラッチケーブルガイドに取り付けてナットを締め付けます。



◇タコメーターギアにケーブルのインナーの切り欠きを合わせて差し込み、スクリューでタコメーターケーブルを固定します。
(CB50)



スパークプラグの取り付け

◇スパークプラグを、まず手で締め込みます。
◇スパークプラグレンチを用いて締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
スパークプラグ

トルク：14N・m (1.4kgf・m)



◇プラグキャップを取り付けます。



エキゾーストマフラーの取り付け

◇シリンダーヘッド側のナット 2 個を仮止めします。
※ CB50 ノーマルマフラーは、レーシングスタンド使用時に取り付け出来ません。サイドスタンドで車両を支えてから取り付けして下さい。
※ ノーマルマフラーはステップとエンジンの間から差し込んで下さい。



Ape

◇マウントボルトを仮止めします。



◇仮止めした 3 ヶ所を本締めします。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット 2 個

トルク：12N・m (1.2kgf・m)

マウントボルト

トルク：13N・m (1.3kgf・m)

XR50 Motard

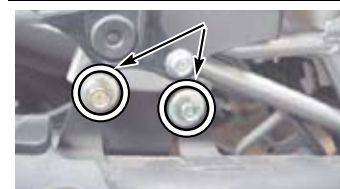
◇仮止めした 2 ヶ所を本締めします。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット 2 個

トルク：12N・m (1.2kgf・m)

マウントボルト

トルク：20N・m (2.0kgf・m)



CB50

◇ワッシャ、マフラーブラケット、ワッシャの順にピボットボルトに取り付け、ロックナットを仮止めします。



◇仮止めした 3 ヶ所を本締めします。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット 2 個

トルク：12N・m (1.2kgf・m)

ロックナット

トルク：34N・m (3.5kgf・m)

◇キックペダルをシャフトに差し込み、ボルトで取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト

トルク：12N・m (1.2kgf・m)

キャブレター

(スロットルボディ) の取り付け

Ape (キャブ)、CB50、XR 50

※当製品はノーマルキャブレターでは性能を発揮しません。
別売りのキャブレターキットをお買い求め下さい。
※取り付けは、キャブレターキットの説明書を参照して下さい。

Ape (FI) の場合

◇突起に溝を合わせてスロットルボディをインシュレータに取り付けます。
インシュレーターバンド端間が 7 ± 1mm となるようにバンドスクリューを締め付けます。



◇コネクティングチューブをスロットルボディに取り付け、バンドスクリューを確実に締め込みます。
※バンドの穴がインシュレータの位置決めピンに合っているか確認して下さい。



◇スロットルケーブルをスロットルドラムに接続し、ケーブルホルダーに取り付けます。
◇ロックナットを仮締めしスロットルグリップの遊びを調整します。



◇センサーユニット 5P (黒) カブラを接続します。



◇IAC バルブ 4P (黒) カブラ、インジェクタ 2P (黒) カブラを接続します。



◇スロットルドラムカバーを取り付け、スクリューを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：1.2N・m (0.1kgf・m)



CB50

◇コネクティングチューブにキャブレターを差し込み、シリンダーヘッドにマニホールドをボルト2本で取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



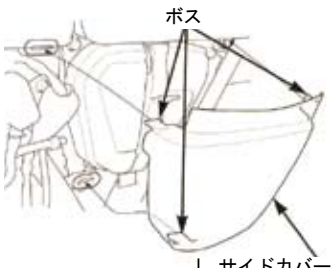
◇コネクティングチューブバンドのスクリューを締め付けます。



◇スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせて差し込み、トップキャップを取り付けます。

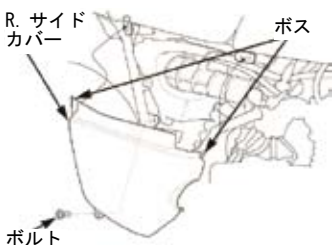
●サイドカバーの取り付け

◇L. サイドカバーのボス3ヶ所をフレームに差し込み、取り付けます。



L. サイドカバー

◇R. サイドカバーのボス2ヶ所をフレームに差し込み、ボルトを取り付けます。



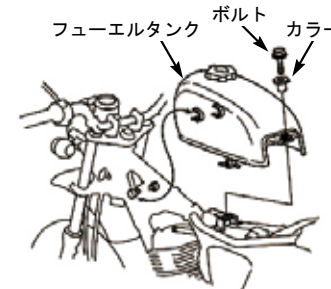
R. サイドカバー

シートとタンクの取り付け

Ape の場合

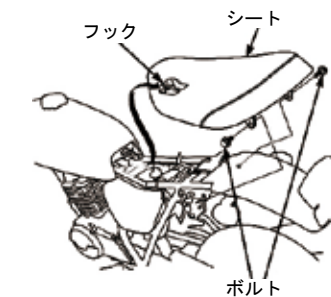
◇フューエルタンクをフレームに取り付け、ボルトを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：26N・m (2.7kgf・m)



◇シート裏面の前部のフックをフレームに差し込み、2本のボルトでフレームに取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：26N・m (2.7kgf・m)



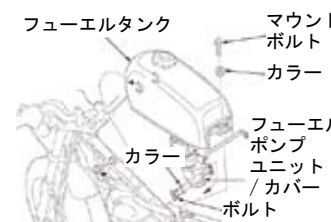
Ape (FI) の場合

◇フューエルタンクをフレームに取り付け、ボルトを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：26N・m (2.7kgf・m)

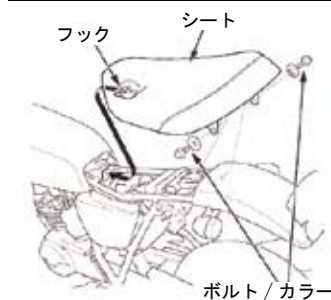
◇フューエルポンプユニットを取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フューエルポンプユニット
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



◇シート裏面前部のフックをフレームに差し込み、2本のボルト、カラーでフレームに取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト / カラー
トルク：26N・m (2.7kgf・m)



XR Motard

◇L/R サイドカバーを取り付け、フランジボルトを取り付け規定トルクまで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：8N・m (0.8kgf・m)



●フューエルホースの接続

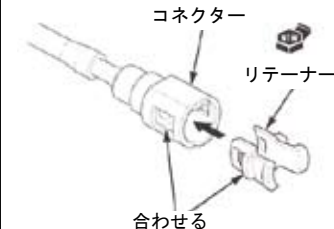
Ape (キャブ)、CB50、XR Motard の場合

◇フューエルコックにフューエルチューブを接続し、チューブクリップで固定します。

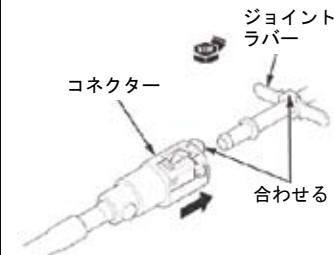


Ape (FI) の場合

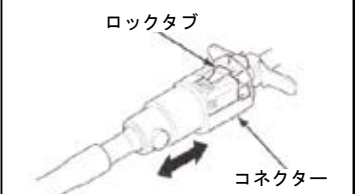
※クイックコネクターの接続方法
クイックコネクターの接続を外した場合はリテーナー、ジョイントラバーを新品に交換する事をお勧めします。
1. ロックタブ2箇所をコネクターの穴に正しく合わせ、リテーナーをコネクターに取り付けます。



2. ジョイントラバーをジョイント部に取り付けます。
3. クイックコネク터를まっすぐジョイント部に取り付け、図の様にリテーナーの溝をジョイントラバーに合わせる。“カチッ”と音がするまでコネクターを押し込みます。コネクターが取り付けにくい場合はジョイント部に少量のエンジンオイルを塗布します。



4. コネクターを前後に動かし、ロックタブによってコネクターが固定され、確実に接続している事を確認します。



5. フューエルポンプユニット 2P (黒) カブラを接続する。



6. バッテリーケーブルを接続する。
7. メインスイッチを数秒間 ON で保持し燃料漏れが無いを確認します。(この時エンジンは始動しない事)

◇前記を参考にして、スロットルボディ側のクイックコネクターを接続します。

Ape (FI) の場合

◇別売の FI コントローラーを購入し、コントローラーの取扱説明書の指示に従いコントローラーを取り付けます。

☆エンジン始動☆

○エンジンに付着した汚れをよく拭き取ります。
○イグニッションキーを ON にし、エンジンを始動させます。
必ず換気のよい場所で行う事。
○異音など異常が無いを確認します。
○異常が無ければ 30km から 50km 程度慣らし運転をし、再度バルブクリアランスを点検します。
※ Ape (FI) の場合、ガソリンコックは ON のままです。
必ず冷間時に行う事。
○100km から 150km 位まで再度慣らし運転を行います。
○慣らし運転終了後、異音やブローパイガスなど異常が無いを確認します。
(異常がある場合は、再度エンジンを分解し、各部を点検する。)
再使用出来ないパーツは再使用しない事。

CB50 へ組み込まれる方へ

経年変化に伴い、各部の摩耗、へたり、損傷が考えられます。
特に、シール部、ベアリング部、ジャーナル部等の点検を行い、必要ならば修理・部品交換を行って下さい。

●ポイント点火について

※点火時期がずれていると本来の性能を発揮しない上に故障につながる恐れがあります。
点火時期およびポイント隙間の点検を行って下さい。ご自分で出来ない場合は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧めします。

★点火時期の点検

- ◇タイミングライトを使い、アイドリング (1500rpm) 時にフライホイールの “F” マークとクランクケースの “M” マークが合っているか確認します。
- ◇合っていない場合はポイント隙間の点検を行って下さい。

★ポイント隙間の点検

- ◇ポイントの荒れ、偏摩耗、汚れがあればコンタクトブレーカーは交換して下さい。
- ◇フライホイールを反時計方向に回し、ポイントが一番開く所に合わせます。
- ◇シックネスゲージでポイント隙間を測ります。
ポイント隙間規定値 : 0.3 ~ 0.4mm
- ◇規定値外の場合はポイント隙間の調整を行います。

★ポイント隙間の調整

- ◇調整はブレーカー締め付けネジを緩め、コンタクトブレーカーをマイナスドライバー等で動かして行います。
- ◇規定値内になるように調整し、再度タイミングライトを使って点火時期の点検を行って下さい。
- ◇ポイント隙間と点火時期が合わない場合、コンタクトブレーカーを交換して下さい。

●走行前の注意

①お願い

- ◇このキットを取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。
- ◇一般公道を走行される場合は小型 2 輪以上の免許を取得し、市町村の役所で原付 2 種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
- ◇キット内の原付 2 種マークをお貼り下さい。

②使用燃料について

- ◇燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

- ③ Ape [FI] にこの製品を取り付け、ノーマル ECU のままで使用されるとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。
弊社製 FI コントローラー “FI コン 2 (05-04-0037)” を必ず同時装着して下さい。

④スプロケットの変更

- ※このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。
スプロケットのハイギア化を行って下さい。
- ◇ Ape/XR50 モタード S ステージ仕様の参考 2 次減速比は 2.5 となっております。
(体重 65kg 時)
2 次減速比は、“ドリブン (リアタイヤ側) スプロケットの歯数 ÷ ドライブ (エンジン側) スプロケットの歯数” で算出します。
例えば、35 T (ドリブンスプロケット) ÷ 14 T (ノーマルドライブスプロケット) = 2.5 (2 次減速比) となります。
- ◇ CB50 S ステージ仕様の参考 2 次減速比は、約 2.9 となっております。
(体重 65kg 時)
例えば、35 T (ドリブンスプロケット) ÷ 12 T (ノーマルドライブスプロケット) = 2.9 (2 次減速比) となります。

●その他

①温度計

- ◇このキットのシリンダーサイド部にはスティックタイプの温度センサーが取り付け出来ます。又、オイルプラグボルト部には M5 タイプの温度センサーが取り付け出来ます。

②オイルクーラー (Ape/XR50 Motard)

- ◇このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には、オイルクーラーキットの装着をお勧めします。
(オイルクーラー取り付けの際は、オイルプラグボルトの M5 タイプ温度センサーは取り付け出来なくなります。)

③カムシャフト等

- ◇さらなるパワーアップに、弊社製スポーツカムシャフトを、キャブレター車には、キャブレターキットの装着をお勧めします。
- ・スポーツカムシャフトキット : Ape (キャブ)、CB50、XR Motard 用 01-08-040
: Ape (FI) 01-08-0123